

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基本施策	農林水産業の持続的発展		
取り組み事項	農業の振興を図る		
主管部局	建設農林部 農林水産課	関連部局	

めざす暮らしの姿

農林水産業の持続的発展

基本方針

担い手の育成を行うとともに、生産技術及び経営技術の向上に取組み、経営の安定化を図る。

施策の方針

担い手への農地利用の集積・集約化を推進するとともに、農業経営者育成のための技術、経営指導などを行い、農業経営の安定化と後継者の育成を図る。農地を守るため、シカ、イノシシなどの有害鳥獣対策を行うとともに、土地改良施設の維持管理を行い、農地の荒廃防止に努めます。メロン、ゆず、味噌などの特産品の安定的な生産を推進し、地域特産品の充実を図り、農産物直売所などを拠点とした全交流産業ネットワークを構築し、販売を促進する。

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	5.6	4.9	5.18	5.22	1.28	1.28
会計年度任用職員数	1.21	1.21	1.21	1.21	0.0	0.0
人件費計	39,708,651	39,256,651	35,420,132	38,871,353	8,964,966	8,964,966
事業費計	154,080,625	126,964,054	143,365,921	137,606,000	26,444,000	26,444,000
フルコスト	193,789,276	166,220,705	178,786,053	176,477,353	35,408,966	35,408,966

(2)歳入

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期庫支出金	1,420,000	1,456,000	1,456,000	1,456,000	0	0
定県支出金	73,516,930	56,292,000	47,615,000	42,265,000	4,487,000	2,112,000
財市債	18,800,000	23,200,000	35,800,000	24,000,000	0	0
源その他	1,577,040	1,202,000	2,042,000	14,412,000	3,000	0
一般財源1	98,475,306	84,070,705	91,873,053	94,344,353	30,918,966	33,296,966
一般財源2	58,766,655	44,814,054	56,452,921	55,473,000	21,954,000	24,332,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	【量】夢ある農村づくり推進事業補助件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	8	9	9	9	9	9
単年度実績値	9	8	8			
単年度達成率	112.5%	88.88%	88.88%	-	-	-

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】夢ある農村づくり推進事業補助件数
前年度との比較	→:維持
所見	引き続き特産物の振興を図るため、補助を継続し、特産品の安定的な生産と販売促進を行う。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
夢ある農村づくり推進事業	B:現状のまま継続 農業振興のため、細やかな支援ができるよう、ニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。	B:現状のまま継続 特產品の安定生産のため、引き続き支援を行う。	A
上松農業共同作業所管理事業	B:現状のまま継続 指定管理者と連携し、有効利用を促進する。	B:現状のまま継続 指定管理者と連携し、施設を維持する。	A
中山間地域等直接支払事業	B:現状のまま継続 農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状である。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内の負担軽減を図る必要がある。	B:現状のまま継続 中山間地域の農業を引き続き支援する。	A
ふるさと交流館管理事業	B:現状のまま継続 現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。	B:現状のまま継続 指定管理者と連携し、利用者増を図る。	B
有害鳥獣対策事業	B:現状のまま継続 農作物被害の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。	B:現状のまま継続 継続して有害鳥獣の駆除を推進する。	A

評価対象外の構成事務事業一覧

施策の事後総合評価

（1）施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【量】夢ある農村づくり推進事業	88.88%	→:維持	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	88.88%	中	B:おおむね順調
達成状況の原因分析、説明等			

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 概ね方針に沿った事業推進を行っている。
構成事務事業に課題はないか	ない 全体的に必要な事業であり、目的達成のために国・県の補助金を有効に活用しており妥当である。
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している 国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	施策目標達成のため、継続した対策が必要である。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施 策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基 本 施 策	農林水産業の持続的発展		
取 紐 組 み 事 項	森林整備及び保全を図る		
主 管 部 局	建設農林部 農林水産課	関 連 部 局	

めざす暮らしの姿

森林・林業を成長させ、持続性のある森林経営を確立する。

基本方針

森林の持つ多面的機能を最大限に発揮できる環境整備を図り、森林・林業の発展、森林資源の適正な管理や利活用を行う。

施策の方針

森林環境譲与税を利用した意向調査により、森林資源の調査を行う。

相生市立羅漢の里において、森林・林業と触れ合うことのできる教室の開催や施設の整備を行う。

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.62	1.32	1.3	0.72	1.06	1.06
会計年度任用職員数	0.09	0.09	0.09	0.09	0.04	0.04
人件費計	4,334,400	10,229,654	8,569,113	5,214,691	7,500,512	7,500,512
事業費計	21,927,408	89,603,295	27,791,653	49,569,000	31,691,000	31,691,000
フルコスト	26,261,808	99,832,949	36,360,766	54,783,691	39,191,512	39,191,512

(2)歳入

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特 定 財 源	国庫支出金		40,000,000		0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
	その他	3,522,496	4,003,340	8,637,000	26,733,000	6,750,000
	一般財源1	22,739,312	55,829,609	27,723,766	28,050,691	32,441,512
	一般財源2	18,404,912	45,599,955	19,154,653	22,836,000	24,941,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値		11,500	12,300	13,500	14,370	15,200
単年度実績値		15,074	18,037			
単年度達成率	-	131.07%	146.64%	-	-	-

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	利用者数
前年度との比較	↑:向上
所見	新型コロナウイルス感染者数の収まりとともに利用者数は増加傾向にある。

構成事務事業の事後総合評価

評価対象外の構成事務事業一覧

施策の事後総合評価

施策成果指標 (1)施策成果指標

施策成果指標			
施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
利用者数	146.64%	↑ : 向上	81.98%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	146.64%	高	A: 順調
達成状況の原因分析、説明等			

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	A:順調に進捗している 指定管理者と連携し、施設の更新を行って行く必要がある。意向調査を実施した後、森林資源の利活用方法について検討が必要。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	施設の整備を実施し、利用者も増加傾向であるため、引き続き事業を実施していく。 森林の一部で意向調査を開始したので引き続き調査を実施していく。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基本施策	農林水産業の持続的発展		
取り組み事項	水産業の振興を図る		
主管部局	建設農林部 農林水産課	関連部局	

めざす暮らしの姿

農林水産業の持続的発展

基本方針

漁場環境の保全と養殖産業を推進し、漁業経営の安定化を図ります。

施策の方針

漁場の環境を保存し、「相生かき」の更なるブランド化を図るとともに、牡蠣、アサリなどの養殖産業を育成していくことにより、水産業経営の安定を図ります。

2. 事業費

(1) 岁出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.27	0.27	0.37	0.79	0.5	0.5
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,832,367	2,065,463	2,400,524	5,533,064	3,501,940	3,501,940
事業費計	33,441,999	39,132,200	15,639,063	4,551,000	2,162,000	2,162,000
フルコスト	35,274,366	41,197,663	18,039,587	10,084,064	5,663,940	5,663,940

(2) 岁入

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	国庫支出金	2,000,000	4,500,000		0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
その他	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
一般財源1	34,674,366	38,597,663	12,939,587	9,484,064	5,063,940	5,063,940
一般財源2	32,841,999	36,532,200	10,539,063	3,951,000	1,562,000	1,562,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】牡蠣の出荷量					
単位	トン					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
単年度実績値	2,419	1,265	1,449			
単年度達成率	100.79%	52.7%	60.37%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】牡蠣の出荷量
前年度との比較	↑:向上
所見	天候不良により牡蠣の生育が遅れたため、出荷量は目標を下回った。

構成事務事業の事後総合評価

評価対象外の構成事務事業一覧

施策の事後総合評価

施策成果指標 (1)施策成果指標

施策成果指標			
施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【量】牡蠣の出荷量	60.37%	↑：向上	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	60.37%	低	保留
達成状況の原因分析、説明等			

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ある
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している 相生牡蠣の生産振興を中心とした事業構成であるが、6次産業化の推進など、他の施策と合わせ複合的に推進していく必要がある。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	相生牡蠣の生産振興やブランド化を進め、更なる水産振興を図る必要がある。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201010002	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市の特産品の創出や農産物直売所を維持するため、加工・販売施設等の整備、新商品開発支援や各集落活動を支援することで、農業振興を図る。		
対象	農家・集落		
目的	地元農産物・特産品の生産拡大、販路拡大等の支援や、集落が主体的に行う地域活動を支援することで、地域農業の活性化を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.56	0.56	0.38	0.31	0.31	0.31
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	3,800,471	4,283,931	2,465,406	2,171,203	2,171,203	2,171,203
事業費計	2,016,900	2,821,560	2,366,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000
フルコスト	5,817,371	7,105,491	4,831,406	5,471,203	5,471,203	5,471,203

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコスト-特定財源	5,817,371	7,105,491	4,831,406	5,471,203	5,471,203	5,471,203
事業費計-特定財源	2,016,900	2,821,560	2,366,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】夢ある農村づくり推進事業補助件数					
単位	団体					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	8	9	9	9	9	9
単年度実績値	9	8	8			
前年比	-	88.88%	100%	-	-	-
単年度達成率	112.5%	88.88%	88.88%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		補助件数1件あたりのフルコスト					
単位		1件あたりのフルコスト					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値	727,171.375	789,499	536,822.8889	607,911.4444	607,911.4444	607,911.4444	
単年度実績値	646,374.5556	888,186.375	603,925.75				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	地域創生総合戦略の中にも組み込んでおり、地域資源を守り、特産品の開発・販売や直売所活動を継続的に維持・発展させるためには、市の関与は必要である。	なし
有効性	B:比較的有効である	高齢化・人手不足のため、加工品の製造工程に機械を導入することにより、作業効率の向上や生産拡大、コスト削減が図られ、農業経営体の育成につながった。近年6次産業の新規商品がないため、6次産業化の取組を検討する必要がある。	あり
効率性	B:比較的効率的である	安定した商品供給や生産拡大ができるよう、県普及センターとJA等関係機関と連携を図った。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	令和3年度より相生市伝統野菜継承への取組経費を助成することで、農業者の生産意欲を高めることにつながっている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	イベント出展・メディア等を通じた活動により、広くPR活動を実施している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	農業振興のため、細やかな支援ができるよう、ニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。
休止・廃止となったときの影響	状況に応じた支援ができなくなり、農業振興が滞ることとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	特産品の安定生産のため、引き続き支援を行う。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201010004	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	地域農業の振興のため、独自で乾燥・粒摺作業ができない農業者のために共同で農機具等を使用する施設の管理を行う。		
対象	農家		
目的	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・粒摺作業ができない農業者の利用に供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立上松農業共同作業所の設置及び管理に関する条例		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	203,596	229,496	194,637	280,155	280,155	280,155
事業費計	0	0	0	195,000	195,000	195,000
フルコスト	203,596	229,496	194,637	475,155	475,155	475,155

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコスト-特定財源	203,596	229,496	194,637	475,155	475,155	475,155
事業費計-特定財源	0	0	0	195,000	195,000	195,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】乾燥調整量					
単位	袋					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値						
単年度実績値	751.5	789.5	587.5			
前年比	-	105.05%	74.41%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	1袋あたりのフルコスト					
単位	円／袋					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値						
単年度実績値	270.9195	290.6852	331.297			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・粒摺作業ができない農家の営農に不可欠である。	なし
有効性	B:比較的有効である	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	なし
効率性	B:比較的効率的である	指定管理者による運営とすることで効率的に施設を管理しており、コストの削減が図れている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	指定管理者と連携し有効に施設利用できている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	周辺地域からも利用があり、広域的かつ効果的な施設の活用がなされている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
休止・廃止となったときの影響	地域で廃業する農家が増加し、地域農業が衰退することとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者と連携し、施設を維持する。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201010009	事務事業名	中山間地域等直接支払事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る		
対象	農家		
目的	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助をおこなう。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 中山間地域直接支払事業補助要綱		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.2	0.2	0.2	0.25	0.25	0.25
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,357,311	1,529,975	1,297,582	1,750,970	1,750,970	1,750,970
事業費計	2,781,512	2,778,658	2,565,596	2,851,000	2,851,000	2,851,000
フルコスト	4,138,823	4,308,633	3,863,178	4,601,970	4,601,970	4,601,970

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	2,089,835	2,132,000	2,112,000	2,112,000	2,112,000	2,112,000
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源	2,048,988	2,176,633	1,751,178	2,489,970	2,489,970	2,489,970
事業費計－特定財源	691,677	646,658	453,596	739,000	739,000	739,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】事業実施集落協定数					
単位	集落数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	6	6	6	6	6	6
単年度実績値	6	6	6			
前年比	－	100%	100%	－	－	－
単年度達成率	100%	100%	100%	－	－	－

(2)コスト指標

指標名1	1集落あたりのフルコスト					
単位	円／集落数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	689,803.8333	718,105.5	643,863	766,995	766,995	766,995

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	国の制度を活用して集落の農地を守るため市の関与が必要である。	なし
有効性	B:比較的有効である	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	なし
効率性	B:比較的効率的である	各地域において中山間地域等直接支払事業対象農地のうち、必要最低限の農地において国の制度を活用している。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	各集落で高齢化が進む中で、国の制度を最大限活用し集落の農地が守られており一定の成果が得られている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状である。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。
休止・廃止となったときの影響	農業生産条件の不利な地域の農業が衰退することとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	中山間地域の農業を引き続き支援する。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201010011	事務事業名	ふるさと交流館管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動をおこなうことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。		
対象	地域住民及び施設利用者		
目的	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立ふるさと交流館の設置及び管理に関する条例		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.08	0.08	0.12	0.22	0.22	0.22
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	542,924	611,990	778,549	1,540,853	1,540,853	1,540,853
事業費計	9,971,569	9,372,332	8,750,832	21,838,000	9,518,000	9,518,000
フルコスト	10,514,493	9,984,322	9,529,381	23,378,853	11,058,853	11,058,853

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	13,000,000	0	0
フルコスト-特定財源	10,514,493	9,984,322	9,529,381	23,378,853	11,058,853	11,058,853
事業費計-特定財源	9,971,569	9,372,332	8,750,832	21,838,000	9,518,000	9,518,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】利用者数					
単位	利用者					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
単年度実績値	1,924	2,665	2,918			
前年比	-	138.51%	109.49%	-	-	-
単年度達成率	34.98%	48.45%	53.05%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		利用者1人あたりのフルコスト					
単位		円／人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値	1,911.726	1,815.3313	1,732.6147	4,250.7005	2,010.7005	2,010.7005	
単年度実績値	5,464.9132	3,746.4623	3,265.7234				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	この地域は市内でも特に少子高齢化が進んでおり、都市と農村の交流を図ることで地域の活性化を引き続き図る必要がある。	なし
有効性	B:比較的有効である	利用者の増加や飲食収入の確保等により、施設での利益確保が図れた。	なし
効率性	C:効率性が低い	施設利用率を上げ、コスト削減をおこなう必要がある。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	施設利用者へ提供する食事の改善をおこなう等、サービス向上と利益を生み出す経営に努めた。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市民を集い、じゃがいも収穫体験を実施する等して、都市と農村の交流を図りPRに努めている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。
休止・廃止となったときの影響	市民が自然環境、歴史学習及び農林業体験等を通じた学習活動等を行う場がなくなるとともに、地域の交流が途絶え、衰退する恐れがある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者と連携し、利用者増を図る。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201010012	事務事業名	有害鳥獣対策事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県獵友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業をおこなう。		
対象	農家		
目的	シカ・イノシシ等の有害鳥獣対策をおこなうことで農地の荒廃を防ぐ。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.4	0.4	0.43	0.46	0.46	0.46
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	2,714,622	3,059,950	2,789,801	3,221,785	3,221,785	3,221,785
事業費計	7,634,240	8,680,830	9,058,810	10,580,000	10,580,000	10,580,000
フルコスト	10,348,862	11,740,780	11,848,611	13,801,785	13,801,785	13,801,785

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	2,454,000	2,375,000	2,375,000	2,375,000	2,375,000	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	1,500	3,000	3,000	3,000	3,000	0
その他	7,893,362	9,362,780	9,470,611	11,423,785	11,423,785	13,801,785
フルコスト-特定財源	5,178,740	6,302,830	6,680,810	8,202,000	8,202,000	10,580,000
事業費計-特定財源						

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】鳥獣の捕獲頭数(有害捕獲活動期間)					
単位	頭数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	300	290	290	290	290	290
単年度実績値	438	346	323			
前年比	-	78.99%	93.35%	-	-	-
単年度達成率	146%	119.31%	111.37%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	1頭あたりのフルコスト					
単位	円／頭数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	34,496.2067	40,485.4483	40,857.2793	47,592.3621	47,592.3621	47,592.3621
単年度実績値	23,627.5388	33,932.8902	36,683.0062			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	シカ・イノシシ等については、鳥獣被害防止特措法に基づいて市が被害防止を継続的に主体的におこなう必要がある。	なし
有効性	B:比較的有効である	今後も事業を継続し、農作物被害を少なくする必要がある。	なし
効率性	B:比較的効率的である	県委託料・地元負担金をもとに事業を適正に執行している。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	令和3年度より報償金を増額させたことにより、捕獲意欲も増加し一定の効果があらわれている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	狩猟免許所持者を確保するため、広告媒体の掲示等をおこない告知をおこなっているが、引き続き有資格者の育成を早期に図る必要がある。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	農作物被害の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	農作物被害が増加し、営農意欲の減少により、離農する農家が増加する。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201020001	事務事業名	林業振興事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	林業技術の向上や特産品開発、生きがいづくりの目的として、林業経営にかかる学習・研究活動、共同事業などを行う。		
対象	市民及び市内在勤者		
目的	林産物の活用及び地域産業の伝承、その後継者の育成を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.24	0.85	0.73	0.44	0.7	0.7
会計年度任用職員数	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費計	1,642,855	6,517,041	4,751,156	3,100,807	4,921,816	4,921,816
事業費計	8,693,700	2,952,640	445,160	457,000	464,000	464,000
フルコスト	10,336,555	9,469,681	5,196,316	3,557,807	5,385,816	5,385,816

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	3,511,148	0	0	0	0	0
フルコスト-特定財源	6,825,407	9,469,681	5,196,316	3,557,807	5,385,816	5,385,816
事業費計-特定財源	5,182,552	2,952,640	445,160	457,000	464,000	464,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】林業教室の開催回数(年回予定回数60回)					
単位	回					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	60	60	60	60	60	60
単年度実績値	119	130	105			
前年比	-	109.24%	80.76%	-	-	-
単年度達成率	198.33%	216.66%	175%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	林業教室1回あたりのフルコスト					
単位	円／回					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	172,275.9167	157,828.0167	86,605.2667	59,296.7833	89,763.6	89,763.6
単年度実績値	86,861.8067	72,843.7	49,488.7238			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成を目的としているため、この事業は有効な施策である。	なし
有効性	B:比較的有効である	目標以上の達成をしているが、林業教室の参加者が固定化している。	あり
効率性	A:効率性が高い	予定期数以上の林業教室を開催しているため、効率的に運営が行われている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	林業教室の募集は市の広報で行い、PRが図られている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	4半期毎に各教室から報告書を提出してもらっており、事業内容の確認を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
休止・廃止となったときの影響	林業の技術の伝承や、後継者育成を行う機会が減少する。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	林業発展のため、林業に携われる場を提供し、技術を継承していく必要がある。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201020002	事務事業名	羅漢の里管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	実施の概要 建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、羅漢の里の適正かつ円滑な運営を図る。		
対象	市民		
目的	羅漢の里を整備、管理し、自然環境の中で憩いと安らぎの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.15	0.2	0.2	0.06	0.2	0.2
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費計	1,060,229	1,573,915	1,342,526	477,532	1,458,076	1,458,076
事業費計	10,443,284	81,871,836	17,634,732	36,727,000	24,727,000	24,727,000
フルコスト	11,503,513	83,445,751	18,977,258	37,204,532	26,185,076	26,185,076

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	40,000,000	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	4,000,000	7,000,000	25,000,000	0	0
フルコスト-特定財源	11,503,513	39,445,751	11,977,258	12,204,532	26,185,076	26,185,076
事業費計-特定財源	10,443,284	37,871,836	10,634,732	11,727,000	24,727,000	24,727,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	7,960	11,500	12,300	13,500	14,370	15,200
単年度実績値	12,123	15,074	18,037			
前年比	-	124.34%	119.65%	-	-	-
単年度達成率	152.29%	131.07%	146.64%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		利用者数一人当たりのフルコスト					
単位		人／円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値	1,445.1649	7,256.1523	1,542.8665	2,755.8913	1,822.2043	1,722.7024	
単年度実績値	948.8999	5,535.7404	1,052.1294				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	自然と安らぎを与える場であり、自然と触れ合い親しめることもあり、市民のみならず、市外からもニーズが高い。	なし
有効性	B:比較的有効である	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。しかし、コテージ等老朽化が進んでおり、修繕等が必要である。	あり
効率性	A:効率性が高い	指定管理者制度を活用しており、効率的に運営されている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	利用者は回復傾向にあるため改善が図られている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	指定管理者と月一回の報告会と年度毎に報告会を実施し、業務内容の確認を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、利用者は増加傾向である。より多くの人に利用してもらうため、指定管理者と連携しながら、PR等の啓発や施設の修繕等を行っていきたい。
休止・廃止となったときの影響	廃止となった場合、市民の憩いと安らぎの場の提供ができず、また、観光の振興に寄与することもできなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	更なる利用者の増加を目標とし、指定管理者と連携して、有効な施策を実施していく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201020005	事務事業名	森林環境基金事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	森林環境譲与税及び森林環境基金を活用し、森林経営管理のため、林地台帳地図等の整理、森林所有者への意向調査を行う。		
対象	森林計画区域		
目的	森林の適正管理		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	森林法、森林法施行令、森林経営管理法		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.02	0.06	0.16	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	135,731	458,992	1,038,065	1,120,620	1,120,620	1,120,620
事業費計	11,348	2,084,740	5,736,300	8,482,000	6,500,000	6,500,000
フルコスト	147,079	2,543,732	6,774,365	9,602,620	7,620,620	7,620,620

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	11,348	3,340	637,000	1,733,000	6,750,000	6,750,000
フルコスト-特定財源	135,731	2,540,392	6,137,365	7,869,620	870,620	870,620
事業費計-特定財源	0	2,081,400	5,099,300	6,749,000	-250,000	-250,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】基金充当事業					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2	2	2	2	2	2
単年度実績値	2	2	4			
前年比	-	100%	200%	-	-	-
単年度達成率	100%	100%	200%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		事業1件当たりのフルコスト					
単位		件／円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値	73,539.5	1,271,866	3,387,182.5	4,801,310	3,810,310	3,810,310	
単年度実績値	73,539.5	1,271,866	1,693,591.25				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	森林環境譲与税の使途に該当した事業を実施している。	なし
有効性	A:有効性が高い	将来の森林関係事業のため、森林資源の調査を実施しているので、有効である。	なし
効率性	B:比較的効率的である	事業を行う際には、入札等により業者決定しているため、コスト縮減が図られている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	森林所有者に対し、利用意向調査を実施し、森林管理に繋げていく。	なし
透明性	A:透明性が高い	毎年、市のホームページに森林環境譲与税の使途を公表している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	森林環境譲与税や基金の活用方法について、森林所有者への利用意向調査を行っていくとともに、境界明確化の為の候補図作成や危険木伐採等の実施可能な事業を行っていく。
休止・廃止となったときの影響	森林の適正管理が行えない。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	意向調査や境界明確化の為の候補図作成、危険木伐採等、森林に寄与する効率的な事業の推進を図る。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201030002	事務事業名	水産業振興事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	水産業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生力キの安心・安全をPRすることで販売促進を行うため、ノロウィルス等の検査や補助金の交付を行う。		
対象	漁業者		
目的	漁業者の安定経営を目的とする		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.05	0.05	0.06	0.09	0.09	0.09
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	339,327	382,493	389,274	630,349	630,349	630,349
事業費計	1,000,000	3,000,000	5,500,000	500,000	500,000	500,000
フルコスト	1,339,327	3,382,493	5,889,274	1,130,349	1,130,349	1,130,349

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	2,000,000	4,500,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源	1,339,327	1,382,493	1,389,274	1,130,349	1,130,349	1,130,349
事業費計－特定財源	1,000,000	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】ノロウィルス等検査実施回数					
単位	回					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	25	25	25	25	25	25
単年度実績値	25	25	25			
前年比	－	100%	100%	－	－	－
単年度達成率	100%	100%	100%	－	－	－

(2)コスト指標

指標名1	ノロウイルス検査1件あたりのフルコスト					
単位	円／件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	53,573.08	135,299.72	235,570.96	45,213.96	45,213.96	45,213.96
単年度実績値	53,573.08	135,299.72	235,570.96			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	市の特産品である相生力キを地元で食べたい、提供したいというニーズは高く、相生産力キの育成等に市が関与することは妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効である	食の安全安心を求める市民の要望に応え、相生力キの生産振興により漁業後継者の育成や、漁業者の保護につながった。	なし
効率性	B:比較的効率的である	定期的なウイルス検査や補助金交付は力キの品質確保の手段として適正である。	なし
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	定期的なウイルス検査や補助金交付は力キの品質確保として必要であり改善の余地は少ない	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	ノロウイルス検査結果は消費者へ開示される。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き、水産業の安定的な経営を支援する。
休止・廃止となったときの影響	漁業者への支援がなく、市として代替施策が必要である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き、水産業の安定的な経営を支援する。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	050201030005	事務事業名	水産物市場管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	水産業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。		
対象	地域水産物及び特産品の振興と販売促進		
目的	担い手漁業者の確保及び育成を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.06	0.06	0.11	0.41	0.41	0.41
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	407,193	458,992	713,670	2,871,591	2,871,591	2,871,591
事業費計	30,362,936	34,033,210	8,129,566	1,662,000	1,662,000	1,662,000
フルコスト	30,770,129	34,492,202	8,843,236	4,533,591	4,533,591	4,533,591

(2)歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定期定財源	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
フルコスト-特定財源	30,170,129	33,892,202	8,243,236	3,933,591	3,933,591	3,933,591
事業費計-特定財源	29,762,936	33,433,210	7,529,566	1,062,000	1,062,000	1,062,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	【量】修繕件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4	4	4	4	4	4
単年度実績値	3	2	2			
前年比	-	66.66%	100%	-	-	-
単年度達成率	75%	50%	50%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		修繕1件あたりのフルコスト					
単位		円／件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値	7,692,532.25	8,623,050.5	2,210,809	1,133,397.75	1,133,397.75	1,133,397.75	
単年度実績値	10,256,709.6667	17,246,101	4,421,618				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	C:妥当性が低い	水産物市場を行政として継続していく妥当性は低い。	あり
有効性	B:比較的有効である	利用客は徐々に増加しており、集客努力が認められる。	あり
効率性	B:比較的効率的である	指定管理者制度により委託料を無料としていることからもコストの削減を図り、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	設置目的に合致する事業内容となっているか、検証する必用がある。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	市内外から来場者が訪れ、相生湾臨海部の活性化に寄与している。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3)方向性評価(担当者)

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	施設の必要性も含め、施設の在り方を検討していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	水産物を用いた地域の賑わいの場が減少することになる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	施設の必要性も含め、施設の在り方を検討していく必要がある。